

## 令和4年度第2回山口県高齢者医療懇話会（会議録）

日時 令和5年2月3日（金）  
午後1時30分～午後2時50分  
場所 山口県後期高齢者医療広域連合大会議室  
（山口県自治会館4階）

### 【出席者】

出席委員：田中委員（会長）、河村委員、万代委員、伊藤委員、藤谷委員、高田委員、中田委員

広域連合事務局：斉藤事務局長、末永事務局次長、重中業務課長、重富総務課長補佐、岩下業務課長補佐、檜部業務課長補佐兼資格・保険料係長、磯田総務係長、山田医療給付係長、安部保健事業推進係長、桐山主任、小倉主事

欠席委員：平田委員、浜田委員、山野委員、越智委員、田畑委員

### 1 開会・事務局長挨拶

本年度第2回目の懇話会でございます。委員の皆様には、ご多忙の中、ご参集いただきお礼申し上げます。

また、平素から、広域連合の取組にご理解・ご支援いただき、感謝を申し上げます。

はじめに、昨年末に公表されました、国の来年度当初予算案についてですが、後期高齢者医療関係予算額は5兆7千億円余りで、対前年伸び率は3.9%となっており、他の経費に比べて、高い伸び率になっております。

厚生労働省関係一般会計の伸び率が1.6%、社会保障関係費1.7%と比べて2%以上も高い伸びとなりました。また、高齢者と関係の深い、年金関係は2.5%、介護関係は2.7%で、こうした経費と比べましても、1%以上高い伸びとなっています。

こうしたことから、全ての団塊の世代が75歳以上となる2025年問題が大きな課題である事が実感できるものとなっています。

さて、本日の会議では、医療保険制度改革、医療費の動向、保健事業の一体的実施の3点を議題とさせていただきます。

まず、医療保険制度改革につきましては、2025年問題、2040年問題を背景に、これまで国において検討が進められ、昨年10月からは窓口負担金2割の導入が行われたところですが、今回の制度改正は、次期保険料改定となる令和6年度・開始のタイミングでの実施予定とされており、保険料の制度見直しが中心となっています。高齢者の保険

料と現役世代の支援金の伸び率を同じになるよう見直すことなどが盛り込まれ、関連法案が、今国会に提案予定となっているところでございます。

次に、医療費の動向ですが、これは新型コロナの医療費への影響を見るため、平成29年度から令和3年度までの全国全制度の概算医療費（国民医療費の概算）と山口県後期高齢者医療費の動向を比較いたしました。

令和2年度は、コロナの影響により、全国・山口ともに、入院、入院外の両方が減少しました。3年度は、全国が入院・入院外ともに増加し、医療費総額はコロナ以前の元年度を上回ったのに対して、山口は、入院外は増加しましたが、3年度の入院の2年度よりの回復率が小さく、総額も元年度を下回っているのが、大きな特徴となっています。

第3点目は、保健事業の一体的実施についてです。医療関係団体をはじめ関係の皆様のご指導・ご協力によりまして、低栄養、口腔、投薬など幅広く事業を推進することができ、取組市町も12市町で全体の6割超となりました。本当にありがとうございました。

今後は、取組市町の事業内容の充実を図るとともに、残る7市町についても、令和6年度までに取組開始ができるよう取組を強化してまいりますので、引き続き、皆様のご支援をお願いいたします。

本日は、以上3点につきましてご説明させていただきますので、委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## 2 テーマ

- (1) 医療保険制度改革について [資料1]
- (2) 医療費の動向について [資料2]
- (3) 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について [資料3]

### 〈質疑応答・意見交換〉

<事務局から資料1の説明>

【会 長】それぞれのお立場から内容についてご質問等ありますか。

【委 員】出産育児一時金の引き上げについて、子育てを社会全体で支えようという仕組みであることは理解できますが、後期高齢者医療の財源は約4割が現役世代の支援金とのこと。つまり、現役世代の支援金からこの一時金に支援するのではないかと感じてしまいます。これについて何か情報等ありますか。

【事務局】今のところ、詳細は示されていません。

【会 長】今後情報が入ればご提供ください。

<事務局から資料2の説明>

- 【会 長】内容についてご質問等ありますか。医療機関のお立場からはいかがでしょうか。
- 【委 員】年末年始の休日当番を担当しましたが、コロナウイルス流行前と比べて、対応した患者数はやや増といったところですが、コロナウイルスの場合はインフルエンザ等と違い対応にとっても時間が掛かりました。今後コロナウイルスに対する集団免疫が付いてくればこのまま収束する可能性もありますが、ウイルスの動向次第でもあるので柔軟に対応していきたいです。医療費の動向につきましても、今後はコロナ流行前の実績に戻っていくことが想定できます。
- 【委 員】医療費の推移について、入院・入院外・歯科は、令和元年度以降右肩上がりに伸びていますが、調剤が伸びていない理由は何かありますか。また、ジェネリック医薬品について後期高齢者医療の取り組みはいかがでしょう。
- 【事務局】調剤が下がっている要因として考えられるのが、薬剤単価の引き上げの影響と、ジェネリック医薬品の利用の増加です。山口県の後期高齢者のジェネリック医薬品の使用率は、令和3年3月診療分が80.9%で令和4年3月診療分が81.4%であり、比較して0.5%増加しています。この影響もあると考えられます。
- 【委 員】保険証にジェネリックシールを貼るなどの対応をされていますか。
- 【事務局】新規資格取得者と、差額通知送付者に希望カード付リーフレットを送付しています。
- 【委 員】高齢者でジェネリック医薬品の使用を拒まれるケースが一定数あると思われます。
- 【委 員】歯科の1日当たりの医療費が伸びている要因は何でしょうか。
- 【事務局】材料費の高騰などが考えられます。
- 【会 長】歯科の受診延日数は下がっているところからみても、事務局の言うとおりに金・銀・パラジウム等の高騰が1つの要因と思われます。
- 【委 員】公表される高齢者の死亡者数はコロナウイルスによる直接的な死亡か、持病のある方が感染する等の間接的な死亡かどちらか分かれば教えていただきたいです。
- 【事務局】持病の有無は不明ですが、いずれにしてもコロナウイルスに感染されている方で亡くなられた方が数が公表されていると思われます。
- 【会 長】国から定義などは示されているのでしょうか。
- 【委 員】定義は分かりませんが、流行当初はコロナウイルスによる急性肺炎等による直接的な原因の死亡がほとんどでしたが、現在はコロナによる発熱が原因で食欲がなくなり死亡につながるといった間接的なものが多いと思います。
- 【会 長】医療費の動向については、被用者保険も同じような感じでしょうか。
- 【委 員】その通りです。
- 【会 長】令和3年度医療費について、全国は対前年伸び率が4.6%の伸びとなってい

るのに対して、山口県は1.1%の伸びに留まっています。これは、山口県は入院医療費の割合が高いが、入院医療床の空床がまだ多いのではと考えます。

【委員】協会けんぽも同じような動向になっています。令和3年度の医療費はコロナ前に比べてあまり伸びていません。全国で4番目に伸び率が低かったです。そのさらに1年前と比較しても全国で2番目の伸び率の低さでした。来年度の保険料率は、令和3年度の医療費の伸びを勘案して設定しますので、保険料率は下がりました。山口県は元々、医療費をよく使い、病院によくかかるといった特徴がありますが、これが少し正常に戻った感じがあります。

【会長】これから空床保障がなくなり、入院患者が入り始めたらまた増加すると思います。

#### <事務局から資料3の説明>

【会長】内容についてご質問等ありますか。

【委員】インセンティブが全国1位ということでよく頑張っていると感じます。私は事業実施後の効果が大事だと考えていますが、アウトカム項目の得点が伸びなかったということで、配点の詳細を教えてくださいませんか。

【事務局】まず、重症化予防のマクロ的評価ということで、広域連合の年齢調整後新規透析導入患者が少ない順に、「全広域連合の上位1位から5位」、「上位6位から10位」である場合のどちらにも該当していませんが、「上位5割」に該当し1点を獲得しています。続いて、同項目の年齢調整後新規透析導入患者の前年度からの減少幅が大きい順に同様の配点がありますが、こちらは獲得できていません。続いて、年齢調整後の一人当たり医療費として「全広域連合の上位1位から5位」、「上位6位から10位」、「全国平均よりも低い水準」という配点がありますが、こちらも獲得できていません。最後に年齢調整後の一人当たり医療費の改善状況として令和元年度実績値の評価をしており、「全広域連合の上位6位から10位」に該当し4点を獲得しています。

【委員】今後一体的実施事業が令和6年度から全市町で行われる予定ということで看護職もしっかりと頑張っていきたいと思います。

### 3 閉会

会長より閉会を宣言